





EMP Monitor 操作ガイド

V4.30

説明書中のマークの意味

この説明書の中で使用している記号と記号の意味は次のとおりです。

注意	本機の故障や損傷の原因になるおそれがある内容を記載しています。
	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
操作	操作方法や作業の順番を示しています。 番号順に操作して目的の作業を行ってください。
[(表記名)]	リモコンまたは操作パネルのボタン名称を示しています。 例：[戻る]ボタン
「(表記名)」 タイマー	EMP Monitor の操作ボタン名称や項目を示しています。 例：「タイマー」-「タイマー設定」を選択します。 タイマー - タイマー設定を選択します。

説明書中のマークの意味..... 2

EMP Monitorの概要

EMP Monitorでできること..... 5

動作環境..... 6

動作可能なコンピューター.....	6
EMP Monitorのインストール.....	6
Windows Vista環境で使用する際の制限事項.....	6
操作を始める前に.....	7

EMP Monitorの使い方

監視するプロジェクターの登録と削除..... 9

EMP Monitorを起動する.....	9
自動検索を使った登録(同一のセグメント内にあるプロジェクターの検索・登録).....	10
自動検索の手順.....	10
登録の手順.....	11
アドレスの範囲を指定して自動検索・登録する.....	12
自動検索の手順.....	12
登録の手順.....	13
IPアドレスを指定して登録する(手動登録).....	14
一括して監視するプロジェクターをグループ登録する.....	16
登録後にプロジェクター名やIPアドレスが変更になったとき.....	17
手動登録したプロジェクターの場合.....	17
自動検索を使って登録したプロジェクターの場合.....	17
プロジェクターを登録解除する(削除).....	18

監視画面の見方..... 19

グループViewで監視する.....	19
グループViewのアイコンの意味.....	19
グループViewでのアイコン操作法.....	20
詳細リストViewで監視する.....	21

詳細リストViewのアイコンの意味.....	21
表示項目の選択.....	22
リストの並べ替え.....	23
目的のアイコンを探す(プロジェクター一覧表示).....	23
システムトレイで監視する.....	23
異常・警告状態のプロジェクターを一覧表示する.....	24
プロパティーで詳細を確認する.....	25
グループプロパティーを表示する.....	25
プロジェクタープロパティーを表示する.....	26
ログの表示と削除.....	26
ログの表示.....	26
ログの削除.....	26

制御機能の使い方..... 27

制御ボタンで制御する.....	27
Webブラウザを使って制御する(Web制御).....	28
タイマー予約で制御する.....	28
新規タイマー予約の手順.....	29

メール通知機能の設定..... 31

異常/警告/状態通知のメールが送られてきたら..... 33

アプリケーションロック機能..... 34

アプリケーションロックの有効/無効を切り替える.....	34
アプリケーションロックを有効にする場合.....	34
アプリケーションロックを解除する場合.....	34
アプリケーションロック解除時のパスワードを設定する.....	34

付録

困ったときには..... 36

プロジェクターを監視・制御できない.....	36
プロジェクターに異常が起きてもメールが送付されない.....	36

一般のご注意..... 37

商標について.....	37
-------------	----



EMP Monitorの概要

EMP Monitorを使うと、ネットワーク上の複数のエプソンプロジェクターの状態をコンピューターのモニターに表示して確認したり、コンピューターから制御したりできます。

EMP Monitorでできる監視・制御の概要は次のとおりです。

● 監視・制御するプロジェクターの登録

ネットワーク上のプロジェクターを自動検索し、検出された中から登録するプロジェクターを選ぶことができます。

目的のプロジェクターのIPアドレスを入力し登録できます。

● 登録したプロジェクターのうち、一括して監視・制御するものをまとめてグループ登録できます。

● 登録したプロジェクターの状態監視

プロジェクターの電源の状態(オン/オフ)や異常・警告などの対処が必要な状態になっていないかなどをアイコンで視覚的に確認できます。

気になるグループまたは特定のプロジェクターを選択して、ランプの累積点灯時間や選択されている入力ソース、異常・警告の内容などの詳細情報を確認できます。

● 登録したプロジェクターの制御

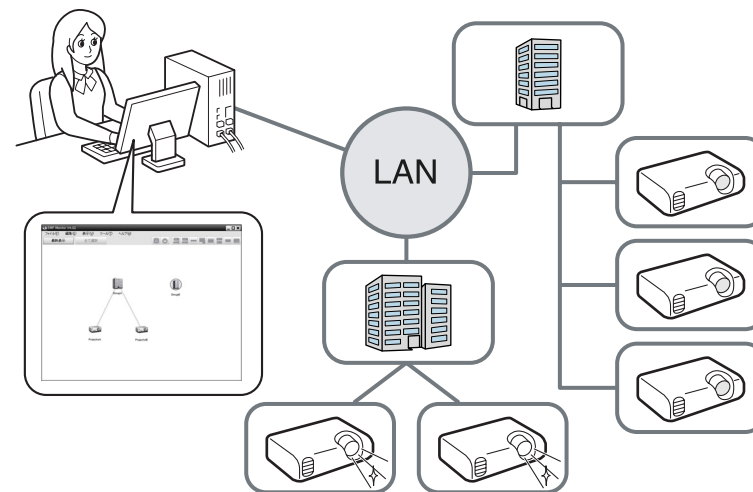
グループ単位で一括して、あるいは特定のプロジェクターだけを選んで電源の状態(オン/オフ)を切り替えたり、入力ソースを切り替えたりできます。

Web制御機能を使いプロジェクターの環境設定メニューの設定を変更できます。

タイマー設定で決まった日時に定例の制御を行えます。

● メール通知機能の設定

登録したプロジェクターに異常などの対処が必要な状態が発生した場合に、それらの状態がメールで通知されるようにメールアドレスなどの設定ができます。



プロジェクターがスタンバイ状態※でも監視・制御するには、プロジェクター側で次の設定を行います。お使いのプロジェクターにより、どちらの設定を行うのが異なります。☛ プロジェクターに添付の『取扱説明書』

- ネットワーク監視をオンに設定する。
- 待機モードをネットワーク有効に設定する。

※プロジェクターのUインジケーターがオレンジ色で点灯している状態

動作可能なコンピューター

Windowsにのみ対応しています。

OS	Windows 98 Second Edition SP1 Windows Me Windows NT4.0 SP6 Windows 2000 Professional SP4 以下の32ビット版OS: Windows XP Home Edition SP2 以降 Windows XP Professional SP2 以降 Windows Vista (Starterを除くすべてのエディション) Windows Vista SP1 (Starterを除くすべてのエディション) • Internet Explorer Ver.5.0以降がインストールされている必要があります。
CPU	PentiumMMX 166MHz以上(Pentium II 233MHz以上を推奨)
メモリ容量	64MB以上(128MB以上を推奨)
ハードディスク空き容量	50MB以上
ディスプレイ	SVGA(800×600)以上の解像度、32ビットカラー以上の表示色

- Macintoshには対応していません。
- 管理するプロジェクターの台数により、使用するコンピューターの動作が遅くなる場合があります。そのときは、より高スペックなコンピューターを使用してください。
- EMP Monitorは、PINGが通らない環境では使用できません。

EMP Monitorのインストール

Windows 2000/Windows NT4.0/Windows XP/Windows Vistaを使っているときは、EMP Monitorをインストールするためには管理者権限が必要です。

お使いのOS言語と異なる言語でEMP Monitorをインストールすると画面が正しく表示されないことがあります。

操作

- 1 コンピューターの電源を入れて起動します。
インストールに問題が出ないように、終了させることが可能な常駐アプリケーションをすべて終了させることをおすすめします。
- 2 コンピューターに『EPSON Projector Software for Meeting & Monitoring』または、『EPSON Projector Software for Monitoring』CD-ROMをセットします。
自動でインストーラーが起動します。
- 3 以降は画面の指示に従ってインストールを実行してください。

Windows Vista環境で使用する際の制限事項

EMP MonitorをWindows Vista環境で使用する際は、以下の制限事項があります。

- EMP Monitorの環境設定画面でスタートアップに登録を使うには、管理者権限が必要です。☛「システムトレイで監視する」 p.23

- EMP Monitorをアンインストールした後も設定情報やログ情報は残ります。これらの情報が不要なときはEMP Monitor V4.30のフォルダごと削除してください。インストール先を変更していなければ、このフォルダは以下の場所にあります。「C:\Users\<ユーザー名>\AppData\Local\VirtualStore\Program Files\EPSON Projector\EMP Monitor V4.30」

操作を始める前に

EMP Monitorを起動する前に、次の点をご確認ください。

- 使用するコンピューターにEMP Monitorをインストールしておきます。
- コンピューターとプロジェクターをネットワーク接続できる状態にしておきます。
- Windows 2000/Windows NT4.0/Windows XP/Windows Vistaを使っているときは、管理権限を持つユーザー(Administrator)だけが起動できます。
- お使いのプロジェクターによっては、EMP Monitor を使用するのに、市販のシリアル↔IP変換アダプターと接続ケーブルが必要です。
☛ プロジェクターに添付の『取扱説明書』「待機モード」
事前にシリアル↔IP変換アダプターの設定をしてからプロジェクターと接続します。



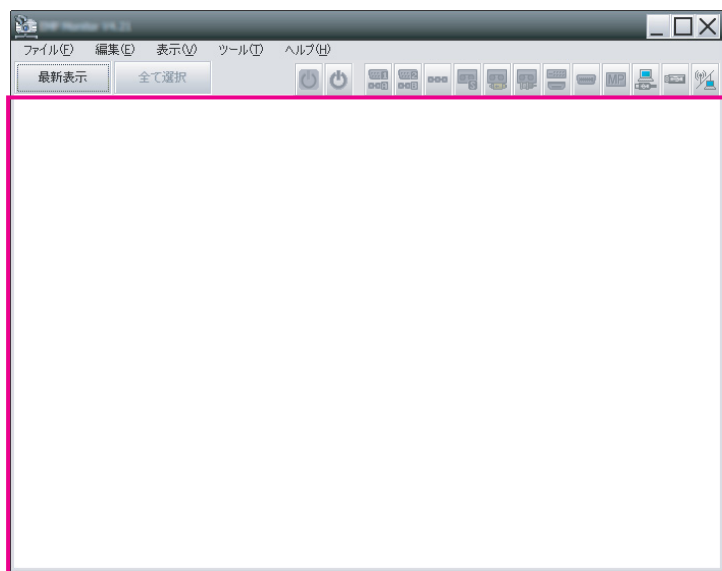
EMP Monitorの使い方

EMP Monitorをインストール後、初めて起動したときや、プロジェクターを追加登録したいときに操作します。一度登録すれば、以降はEMP Monitorを起動すると、登録されているプロジェクターの状態が自動的に表示されます。

EMP Monitorを起動する

操作

- 1 スタート - プログラム(またはすべてのプログラム) - EPSON Projector - EMP Monitor V4.30の順にクリックして、EMP Monitorを起動します。
- 2 メイン画面が表示されます。
赤い枠で囲まれた部分を、グループViewと呼びます。



監視するプロジェクターを自動検索し登録するには、次のようにプロジェクターがネットワーク上のどこに接続されているかにより、操作が異なります。

- EMP Monitorがインストールされているコンピューターが所属しているセグメント内にあるプロジェクターを登録する場合。☛「自動検索を使った登録(同一のセグメント内にあるプロジェクターの検索・登録)」 p.10
- ネットワークの複数のセグメント上にあるプロジェクターを登録する場合。☛「アドレスの範囲を指定して自動検索・登録する」 p.12

自動検索を使った登録(同一のセグメント内にあるプロジェクターの検索・登録)


自動検索の手順

操作

- 1 グループView上で右クリックし、「新規作成」-「プロジェクター(自動検索)」を選択します。

プロジェクター新規作成(自動登録)画面が表示されます。

詳細リストViewを表示している場合は、編集メニュー - 新規作成 - プロジェクター(自動検索)を選択します。




プロジェクター名	IPアドレス
Projector10	192.168.0.40
Projector11	192.168.0.41
Projector12	192.168.0.42
Projector13	192.168.0.43
Projector14	192.168.0.44
Projector15	192.168.0.45
Projector16	192.168.0.46

アドレスの範囲を指定して検索する(R)
先頭アドレス(I) 終了アドレス(N)
検索(S) 編集(E) キャンセル

2

「検索」をクリックします。

自動検索が行われ、検出されたプロジェクター名が表示されます。プロジェクターがリストに表示されないときは、「IPアドレスを指定して登録する(手動登録)」を行ってください。  p.14



プロジェクター名	IPアドレス
Projector10	192.168.0.40
Projector11	192.168.0.41
Projector12	192.168.0.42
Projector13	192.168.0.43
Projector14	192.168.0.44
Projector15	192.168.0.45
Projector16	192.168.0.46

アドレスの範囲を指定して検索する(R)
先頭アドレス(I) 終了アドレス(N)
検索(S) 編集(E) キャンセル



- 編集メニュー - 新規作成 - プロジェクター(自動検索)を選択して操作することもできます。
- シリアル↔IP変換アダプターを使用しているプロジェクターは検出できません。

登録の手順

操作

- 表示されたリストから、登録するプロジェクターを選択して、「編集」をクリックします。

以下の画面が表示されます。



下表をご覧になり、必要な設定を行います。

表示名	グループViewや詳細リストViewに表示するプロジェクターの名称を入力します。 最大で32バイトまで入力できます。先頭でスペースを使用することはできません。
------------	--


表示アイコン	グループViewや詳細リストViewに表示するアイコンを選択します。
親グループ	グループ登録するときに選択します。 グループが作成されていないときは選択できません。 ☛「一括して監視するプロジェクターをグループ登録する」p.16
プロジェクター名	プロジェクター側で登録している名称が表示されます。
IPアドレス	登録するプロジェクターのIPアドレスが表示されます。
シリアル↔IP変換アダプターを使用する	自動検索して登録するときは選択できません。
ポート番号	自動検索して登録するときは選択できません。
Monitor パスワード	プロジェクターにMonitorパスワードが設定されているときは、設定されているMonitorパスワードを必ず入力します。ここで正しくパスワードが入力されていないと登録しても監視・制御できません。
説明	プロジェクターについての覚え書等を記載できます。ここで入力した内容はプロジェクタープロパティに表示されます。 最大で60バイトまで入力できます。
監視を行う	監視を開始するときはチェックマークをつけます。

- 入力が終了したら、「登録」をクリックし登録を実行します。メッセージが表示されるので「OK」をクリックします。

続けて別のプロジェクターを登録するときは、手順1～2の操作を繰り返し行います。



自動検索を使って登録したプロジェクターは、EMP Monitorを起動するたびにプロジェクター名に従って再検索されます。

- ③ 登録作業を終了するときは、画面右上の 、または「キャンセル」をクリックします。

グループViewまたは詳細リストViewに登録したプロジェクターのアイコンが表示されます。

グループView、詳細リストViewの使い方は、「監視画面の見方」p.19をご覧ください。

アドレスの範囲を指定して自動検索・登録する



シリアル↔IP変換アダプターを使用しているプロジェクターは検出できません。

自動検索の手順

操作

- ① グループView上で右クリックし、「新規作成」-「プロジェクター(自動検索)」を選択します。

プロジェクター新規作成(自動登録)画面が表示されます。

詳細リストViewを表示している場合は、編集メニュー - 新規作成 - プロジェクター(自動検索)を選択します。

- ② 「アドレスの範囲を指定して検索する」チェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、範囲の「先頭アドレス」と「終了アドレス」を入力します。



- ③ 「検索」をクリックします。
自動検索が行われ、検出されたプロジェクター名が表示されます。



プロジェクター名	IPアドレス
Projector10	192.168.0.40
Projector11	192.168.0.41
Projector12	192.168.0.42
Projector13	192.168.0.43
Projector14	192.168.0.44
Projector15	192.168.0.45
Projector16	192.168.0.46

登録の手順

操作

- 表示されたリストから、登録するプロジェクターを選択して、「編集」をクリックします。

以下の画面が表示されます。




下表をご覧になり、必要な設定を行います。

表示名	グループViewや詳細リストViewに表示するプロジェクターの名称を入力します。 最大で32バイトまで入力できます。先頭でスペースを使用することはできません。
------------	--

表示アイコン	グループViewや詳細リストViewに表示するアイコンを選択します。
親グループ	グループ登録するときを選択します。 グループが作成されていないときは選択できません。☛「一括して監視するプロジェクターをグループ登録する」p.16
プロジェクター名	プロジェクター側で登録している名称が表示されます。
IPアドレス	登録するプロジェクターのIPアドレスが表示されます。
シリアル↔IP変換アダプターを使用する	自動検索して登録するときには選択できません。
ポート番号	自動検索して登録するときには選択できません。
Monitor パスワード	プロジェクターにMonitorパスワードが設定されているときは、設定されているMonitorパスワードを必ず入力します。ここで正しくパスワードが入力されていないと登録しても監視・制御できません。
説明	プロジェクターについての覚え書等を記載できます。ここで入力した内容はプロジェクタープロパティに表示されます。 最大で60バイトまで入力できます。
監視を行う	監視を開始するときはチェックマークをつけます。

- 入力が終了したら、「登録」をクリックし登録を実行します。メッセージが表示されるので「OK」をクリックします。

続けて別のプロジェクターを登録するときは、手順1～2の操作を繰り返し行います。

③ 登録作業を終了するときは、画面右上の 、または「キャンセル」をクリックします。

グループViewまたは詳細リストViewに登録したプロジェクターのアイコンが表示されます。

グループView、詳細リストViewの使い方は、🖱️ 「監視画面の見方」 p.19をご覧ください。

IPアドレスを指定して登録する(手動登録)

操作

① グループView上で右クリックし、「新規作成」 - 「プロジェクター(手動登録)」を選択します。

以下の画面が表示されます。

詳細リストViewを表示している場合は、編集メニュー - 新規作成 - プロジェクター(手動登録)を選択します。



プロジェクト新規作成(手動登録)

表示名(D)

表示アイコン(I) 

親グループ(P) (なし)

プロジェクター名(N)

IPアドレス(A) 検索(S)

シリアル⇔IP変換アダプタを使用する(I)

ポート番号(O)

Monitorパスワード(W)

説明(E)

監視を行う(M)

登録(R) キャンセル



編集メニュー - 新規作成 - プロジェクト(手動登録)を選択して操作することもできます。

2

登録するプロジェクトのIPアドレスを「IPアドレス」に入力し、「検索」をクリックします。メッセージが表示されるので「OK」をクリックします。

シリアル↔IP変換アダプターとケーブルを使用して接続するときは、シリアル↔IP変換アダプターを使用するにチェックマークをつけ、ポート番号にポート番号を入力してから検索をクリックします。

3

検索終了後、下表を参照し登録するプロジェクトについての情報を入力します。

表示名	グループViewや詳細リストViewに表示するプロジェクトの名称を入力します。最大で32バイトまで入力できます。先頭でスペースを使用することはできません。
表示アイコン	グループViewや詳細リストViewに表示するアイコンを選択します。
親グループ	グループ登録するときに選択します。グループが作成されていないときは選択できません。 ☛「一括して監視するプロジェクトをグループ登録する」p.16
プロジェクト名	プロジェクト側で登録している名称が表示されます。
IPアドレス	手順2で入力したIPアドレスが表示されます。
シリアル↔IP変換アダプターを使用する	シリアル↔IP変換アダプターを介して接続しているときはチェックマークをつけます。
ポート番号	シリアル↔IP変換アダプターを介して接続しているときは接続時のポート番号を入力します。
Monitor パスワード	プロジェクトにMonitorパスワードが設定されているときは、設定されているMonitorパスワードを必ず入力します。ここで正しくパスワードが入力されていないと登録しても監視・制御できません。シリアル↔IP変換アダプターを介して接続しているプロジェクトはMonitorパスワードによるセキュリティ機能は行えません。
説明	プロジェクトについての覚え書等を記載できます。ここで入力した内容はプロジェクトプロパティに表示されます。最大で60バイトまで入力できます。
監視を行う	監視を開始するときはチェックマークをつけます。

- 4 入力終了したら、「登録」をクリックし登録を実行します。メッセージが表示されるので「OK」をクリックします。

グループViewまたは詳細リストViewに登録したプロジェクトのアイコンが表示されます。

一括して監視するプロジェクトをグループ登録する

登録したプロジェクトは、一括して監視・制御する集団ごとにグループ登録できます。

さらに、登録したグループの親グループを設定すると、親グループ単位での監視・制御もできます。

親グループに対して、さらに親グループを設定できるので、階層のあるグループを作ることができます。

まず登録先のグループを作成し、その後で作成したグループにプロジェクトを登録します。

操作

- 1 グループView上で右クリックし、「新規作成」 - 「グループ」を選択します。

次の画面が表示されます。

下表をご覧になり、必要な設定を行います。

詳細リストViewを表示している場合は、編集メニュー - 新規作成 - グループを選択します。



グループ名	グループViewや詳細リストViewに表示するグループの名称を入力します。 最大で32バイトまで入力できます。先頭でスペースを使用することはできません。
表示アイコン	グループViewや詳細リストViewに表示するアイコンを選択します。
親グループ	親グループを選択します。親となるグループが作成されていないときは選択できません。
監視を行う	グループ登録した全プロジェクトを監視するときはチェックマークをつけます。チェックマークをつけないと、個々のプロジェクトの登録時の設定に従います。 グループの新規作成時には設定できません。



編集メニュー - 新規作成 - グループを選択して操作することもできます。

- 2 設定が終了したら「登録」をクリックし、登録を実行します。メッセージが表示されるので「OK」をクリックします。
グループViewまたは詳細リストViewに登録したプロジェクトのアイコンが表示されます。

- 3 グループViewまたは詳細リストView上で、作成したグループに登録するプロジェクトアイコンを右クリックし、「編集」を選択します。



編集メニュー - 編集を選択して操作することもできます。

- 4 表示されたプロジェクト編集画面の親グループで登録先のグループ名を選択し、「変更」をクリックします。
グループViewまたは詳細リストViewにグループ登録の状態がアイコンで表示されます。



登録した内容は表示メニューのプロジェクト一覧表示でも確認できます。

登録後にプロジェクト名やIPアドレスが変更になったとき

手動登録したプロジェクトの場合

操作

- 1 グループViewまたは詳細リストView上で目的のプロジェクトアイコンを右クリックし、「監視無効」を選択します。再びプロジェクトアイコン上で右クリックし、「編集」を選択します。



編集メニューから操作することもできます。

- 2 プロジェクト名だけが変更になったときは、表示されたプロジェクト編集画面で、そのまま「検索」をクリックします。IPアドレスが変更になった場合は、「IPアドレス」に新しいIPアドレスを入力して「検索」をクリックします。メッセージが表示されるので「OK」をクリックします。
- 3 プロジェクト編集画面に戻るので「変更」をクリックします。

自動検索を使って登録したプロジェクトの場合

操作

- 1 グループViewまたは詳細リストView上で、変更になったプロジェクトを削除します。👉 [p.18](#)
- 2 自動検索を行い登録し直します。👉 [p.10](#)

プロジェクターを登録解除する(削除)

EMP Monitorで監視・制御する必要のなくなったプロジェクターは登録を解除できます。

操作

グループViewまたは詳細リストView上で登録解除するプロジェクターアイコン、またはグループアイコンを右クリックし、「削除」を選択します。メッセージが表示されるので「OK」をクリックします。

グループViewまたは詳細リストView上で複数のプロジェクターを選択して削除を行うことができます。

複数のプロジェクターを選択する方法は次のとおりです。

- グループView上でグループアイコンを選択すると、その下に登録されているプロジェクターを一括して削除できます。
- キーボードのCtrlを押したまま目的のアイコンを順次クリックします。
- 目的のアイコンが含まれるようにドラッグ&ドロップで範囲指定します。

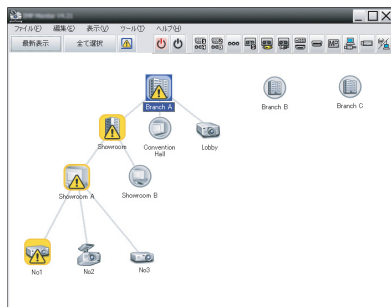


編集メニュー - 削除を選択して操作することもできます。

次のどちらかの表示形式で監視できます。

● グループView

グループ登録の状態を階層図で確認できます。



グループView

● 詳細リストView

各プロジェクターの状態を一覧表示で詳細に確認できます。一覧に表示する項目は必要に応じて任意に選択できます。また、任意の列をキーにしてリストを並べ替えることもできます。

グループ名	表示名	電源	ランプ残量	温度
Branch A	Lobby	●	20H	●
Branch A/Showroom/Showroom A	No1	●	120H	●
Branch A/Showroom/Showroom A	No2	●	60H	●
Branch A/Showroom/Showroom A	No3	●	15H	●
Branch A/Showroom/Showroom B	No4	●	5H	●
Branch A/Showroom/Showroom B	No5	●	95H	●
Branch A/Convention Hall	Projector01	●	20H	●
Branch A/Convention Hall	Projector02	●	68H	●
Branch B/Conference Room	100	●	49H	●
Branch B/Conference Room	101	●	100H	●
Branch B/Conference Room	102	●	35H	●
Branch B/Conference Room	103	●	75H	●
Branch B/Reception Room	Room 1	●	75H	●
Branch B/Reception Room	Room 3	●	80H	●

詳細リストView

● Viewの切り替え方

グループViewと詳細リストViewは次のように切り替えます。

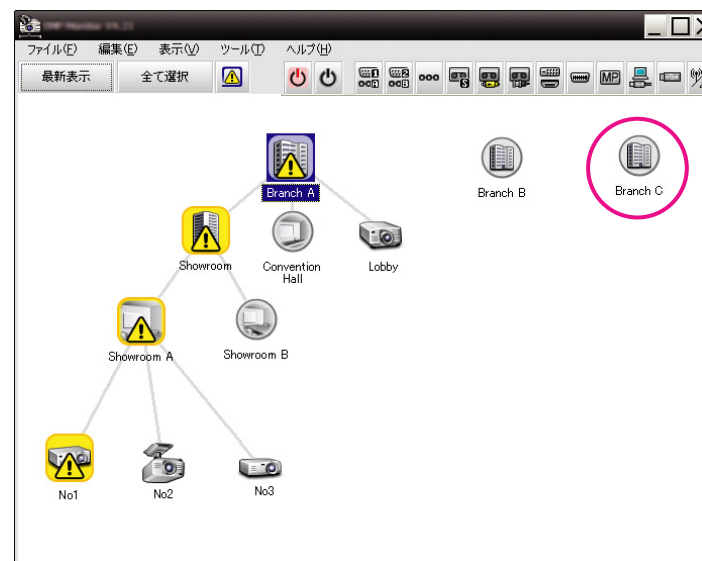
操作

表示メニュー をクリックし、「グループView」または「詳細リストView」を選択します。






グループViewで監視する

グループViewのアイコンの意味

グループViewではアイコンのパターンでプロジェクターの状態をお知らせします。グループアイコンが丸くなっているときは、その下の階層が格納状態であることを示しています。 p.20




アイコンのパターンとその意味は、下表のとおりです。

グループ	
	警告、異常なし グループ内のすべてのプロジェクターが正常です。
	警告、異常あり グループ内に警告、異常状態のプロジェクターが見つかりました。
	通知あり 早めの対処を必要とするプロジェクターがグループ内に見つかりました。
	監視無効 監視対象になっていません。アイコンを右クリックして 監視有効 を選択すると監視対象に含まれます。
	情報更新中

プロジェクター	
	警告、異常なし ※1
	警告、異常あり
	通知あり
	監視無効
	情報更新中
	ネットワークエラー(Monitorパスワード認証エラー) プロジェクター登録時にMonitorパスワードを入力しなかったか、間違ったMonitorパスワードを入力しました。☞ p.11 、 p.13 、 p.14
	ネットワークエラー(TCP接続エラー) ※2

プロジェクター

	ネットワークエラー(ESC/VP.net通信エラー) ※3
---	--------------------------------------

※1 ツールメニューの環境設定でグループViewへの温度レベル表示をOnに設定していると、プロジェクターアイコンに重ねてプロジェクターの内部温度を示すアイコンを表示できます。初期設定ではOffになっています。温度レベルを表示しているとプロジェクターの内部温度の上昇傾向がつかめるため内部高温異常や高温警告の状態に至る前に状態を改善させることができます。☞ [p.24](#)

※2 次の事項を確認してください。

- ・プロジェクターの電源が入っていますか。
- ・LANケーブルが接続されていますか。
- ・プロジェクターの環境設定メニューでネットワーク監視がオン、あるいは待機モードがネットワーク有効になっていますか。

※3 プロジェクターがネットワークに正しく接続されているか確認してください。



異常を検知したプロジェクターの情報は、EMP Monitorを終了するまで保持しています。対象となるプロジェクターの状態を改善してもEMP Monitorの表示は自動更新されません。メイン画面上の「最新表示」をクリックすると最新の状態に更新されます。

グループViewでのアイコン操作法

グループViewでは、アイコンの表示を次のように操作できます。

- **アイコンの展開/格納**
グループアイコンをダブルクリックするたびに、そのグループに登録されているプロジェクターアイコンが展開/格納されます。
- **アイコンの移動**
グループView上でアイコンの位置を変えるときは、移動するアイコンをドラッグ&ドロップします。

詳細リストViewで監視する

詳細リストViewのアイコンの意味

詳細リストViewでは、どのグループに属するかに関わらず登録されているすべてのプロジェクターの状態が一覧表示されます。

名前	グループ	ID	電源	ランプ点灯時間	温度レベル	エラー情報
Branch A		Lobby	●	35H	■	
Branch A/Showroom/Showroom A		No1	●	120H	■	
Branch A/Showroom/Showroom A		No2	●	60H	■	
Branch A/Showroom/Showroom A		No3	●	15H	■	
Branch A/Showroom/Showroom B		No4	●	0H	■	
Branch A/Showroom/Showroom B		No5	●	85H	■	
Branch A/Convention Hall		Projector01	●	20H	■	
Branch A/Convention Hall		Projector02	●	60H	■	
Branch B/Conference Room		100	●	49H	■	
Branch B/Conference Room		101	●	100H	■	
Branch B/Conference Room		102	●	36H	■	
Branch B/Conference Room		103	●	79H	■	
Branch B/Reception Room		Room 1	●	75H	■	
Branch B/Reception Room		Room 2	●	80H	■	

アイコンのパターンとその意味は、下表のとおりです。

種類 ：プロジェクターの状態を示しています。	
	警告、異常なし※1
	警告、異常あり プロジェクターに異常が生じています。

	通知あり プロジェクターが、早めの対処を必要とする状態になっています。		
	監視無効 監視対象になっていません。アイコンを右クリックして監視有効を選択すると監視対象に含まれます。		
	情報更新中		
	ネットワークエラー(Monitorパスワード認証エラー) プロジェクター登録時にMonitorパスワードを入力しなかったか、間違ったMonitorパスワードを入力しました。 p.11、p.13、p.14		
	ネットワークエラー(TCP接続エラー)※2		
	ネットワークエラー(ESC/VP.net通信エラー)※3		
グループ名：グループ登録しているときは、所属しているグループ名が表示されます。			
表示名：表示名が表示されています。			
電源：プロジェクターの電源の状態を示しています。			
	電源ON異常なし		電源ON異常あり
	電源OFF異常なし		電源OFF異常あり
ランプ点灯時間：プロジェクターのランプ点灯時間を表示します。			
温度レベル：プロジェクターの内部温度を5段階に区分しアイコンで示しています。			
	内部温度正常		高温警告
	内部温度正常		内部温度異常
	高温警告		
エラー情報：通知、警告、異常の状態を以下のアイコンで示します。			
	エアフィルター清掃通知		ランプカバー開放状態
	ランプ交換勧告※4		ランプ異常

 高温警告	 ランプ点灯失敗
 エアフィルター交換勧告	 内部高温異常
 エアフィルター未装着	 内部異常
 エアフィルター風量低下	 ファン異常
 エアフィルターセンサー故障	 センサー異常
 エアフィルター風量低下異常	 電源系異常(バラスト)
 エアフィルター風量センサー異常	 オートアイリス異常
 その他のエラー	

※1 ツールメニューの環境設定でグループViewへの温度レベル表示をOnに設定していると、プロジェクターアイコンに重ねてプロジェクターの内部温度を示すアイコンを表示できます。初期設定ではOffになっています。

※2 次の事項を確認してください。

- ・プロジェクターの電源が入っていますか。
- ・LANケーブルが接続されていますか。
- ・プロジェクターの環境設定メニューでネットワーク監視がオン、あるいは待機モードがネットワーク有効になっていますか。

※3 プロジェクターがネットワークに正しく接続されているか確認してください。

※4 ツールメニューの環境設定で任意に時間を設定してランプ交換勧告を表示させることができます。



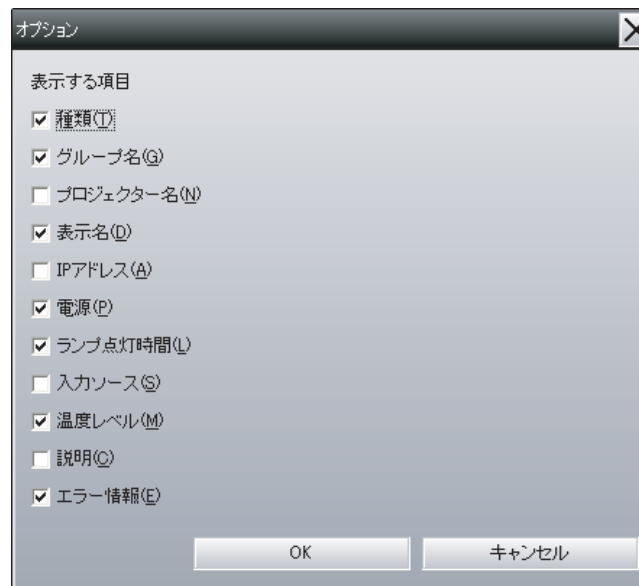
- ・異常を検知したプロジェクターの情報は、EMP Monitorを終了するまで保持しています。対象となるプロジェクターの状態を改善してもEMP Monitorの表示は自動更新されません。メイン画面上の「最新表示」をクリックすると最新の状態に更新されます。
- ・お使いのプロジェクターにより、検出できるエラー情報は異なります。

表示項目の選択

詳細リストViewに表示する項目は必要なものだけを任意に選択できます。

操作

- 表示メニューから「オプション」を選択します。オプション画面が表示されます。



- 表示させたい項目をクリックし、チェックマークをつけます。
- 「OK」をクリックします。
- 詳細リストViewで項目の内容がすべて表示できていないときは、項目名の右の境界線を任意の幅になるようにドラッグします。

リストの並べ替え

プロジェクター名順やIPアドレス順など、任意の列をキーにして詳細リストを並べ替えることができます。

操作

キーにする列の項目名をクリックします。

目的のアイコンを探す(プロジェクター一覧表示)

グループやプロジェクターを多数登録していて目的のアイコンが画面上に表示されていないときは、プロジェクター一覧表示から探すと便利です。

操作

表示メニュー - 「プロジェクター一覧表示」を選択します。

以下の画面が表示されます。



プロジェクター一覧表示では環境設定のグループViewへの温度レベル表示の設定に関わらず温度レベルアイコンは表示されません。

プロジェクター一覧表示では、グループ登録の内容を階層図で確認できます。目的のアイコンをクリックすると、選択したアイコンが画面内に表示されるようにグループViewまたは詳細リストViewがスクロールします。

システムトレイで監視する

常にグループViewや詳細リストViewを表示しておかなくても、プロジェクターの状態をシステムトレイにアイコン表示させ、そのアイコンのパターンで確認することができます。

次の操作で環境設定を行うと、システムトレイにアイコンが表示され、そのアイコンのパターンで状態を監視できます。



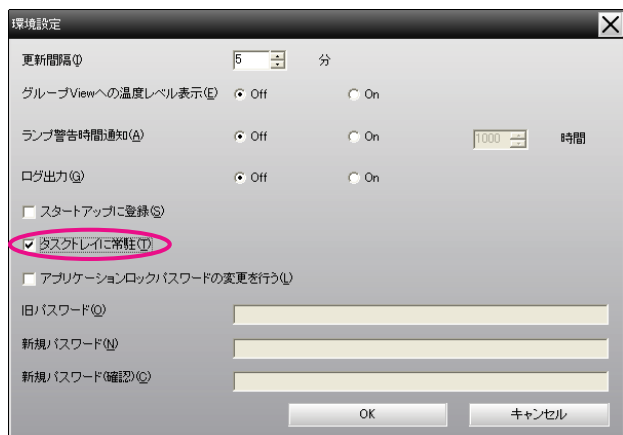
アイコンのパターンは次のとおりです。



操作

- 1 ツールメニュー - 「環境設定」を選択します。
環境設定画面が表示されます。

2 「タスクトレイに常駐」をクリックし、チェックマークをつけます。



3 「OK」をクリックします。



- ・システムトレイのアイコンを右クリックし、メイン画面を開く - 終了を行えます。
- ・環境設定画面のスタートアップに登録にチェックマークをつけると、コンピューター起動時にEMP Monitorが自動起動されます。EMP MonitorをWindows Vista環境でお使いのときは、この機能を利用するには管理者権限が必要です。

異常・警告状態の 프로젝ターを一覧表示する

異常・警告状態の 프로젝ターだけを一覧表示することができます。

操作

表示メニュー - 「警告、異常 프로젝ター一覧」を選択します。
次の警告、異常 프로젝ター一覧画面が表示されます。

エラー情報のアイコン上にマウスポインターを合わせると、エラーの内容や対処方法が表示されます。また、行上でダブルクリックすると、その 프로젝ターのプロパティが表示されます。▶ p.26



一覧でのアイコンのパターンとその意味は、下表のとおりです。

種類：グループや 프로젝ターの状態を示しています。			
表示名：表示名が表示されています。			
電源： 프로젝ターの電源の状態を示しています。			
	電源ON異常なし		電源ON異常あり
	電源OFF異常なし		電源OFF異常あり
ランプ点灯時間： 프로젝ターのランプ点灯時間を表示します。			
入力ソース： 프로젝ターが選択している入力ソースを表示します。			
	コンピューターまたはコンピューター-1		DVIまたはHDMI(デジタル)
	コンピューター-2		D-Video
	BNC		EasyMP

	S-Video		USB Display
	Video(RCA)		USB
	Video(BNC)		LAN
温度レベル ：プロジェクターの内部温度を5段階に区分しアイコンで示しています。			
	内部温度正常		高温警告
	内部温度正常		内部温度異常
	高温警告		
エラー情報 ：警告、異常の状態を以下のアイコンで示します。			
	ランプ交換勧告※		ランプ異常
	高温警告		ランプ点灯失敗
	エアフィルター交換勧告		内部高温異常
	エアフィルター未装着		内部異常
	エアフィルター風量低下		ファン異常
	エアフィルターセンサー故障		センサー異常
	エアフィルター風量低下異常		電源系異常(バラスト)
	エアフィルター風量センサー異常		オートアイリス異常
	ランプカバー開放状態		その他のエラー

※ ツールメニューの環境設定で任意に時間を設定してランプ交換勧告を表示させることができます。



お使いのプロジェクターにより、検出できるエラー情報は異なります。

プロパティーで詳細を確認する

グループやプロジェクターの詳細な情報はプロパティーで確認できます。

グループプロパティーを表示する

操作

次のどちらかの方法でプロパティーを表示します。

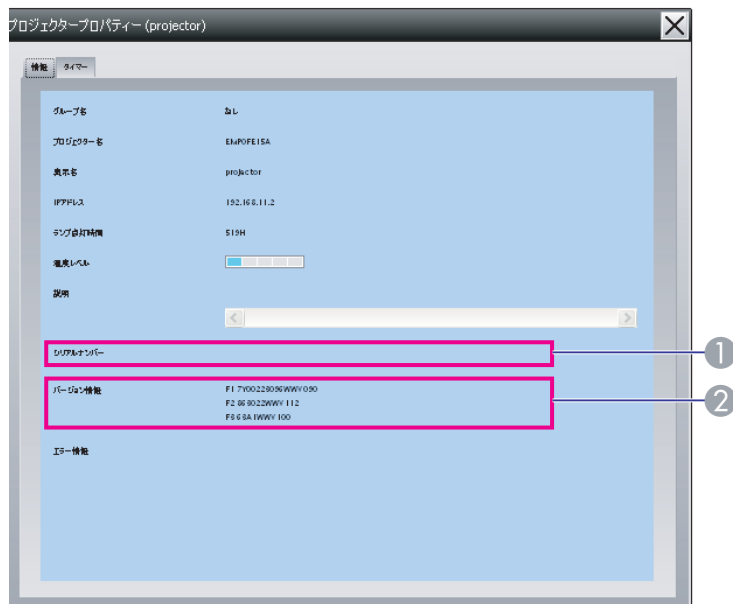
- **グループView上の全グループのプロパティーを表示する**
グループView上で右クリックし、プロパティーを選択します。
- **特定のグループのプロパティーを表示する**
グループView上で目的のグループアイコンを右クリックし、プロパティーを選択します。



行上でダブルクリックをすると、そのグループ、またはプロジェクターのプロパティーが表示されます。

プロジェクタープロパティを表示する

グループViewまたは詳細リストView上で目的のプロジェクターアイコンを右クリックし、プロパティを選択します。



- ① プロジェクターのシリアルナンバーを表示しています。ハイフンが表示される場合は、プロジェクター本体に貼ってあるラベルで、シリアルナンバーをご確認ください。
- ② プロジェクターファームウェアのバージョンを示しています。



ツールメニューの環境設定でログ出力をOnに設定すると通信ログが記録されます。初期設定はOffになっています。

ログの表示

操作

表示メニューで「ログ」 - 「表示」を選択します。
Webブラウザが起動し、それまでの通信ログが表示されます。

ログの削除

操作

表示メニューで「ログ」 - 「削除」を選択します。確認のメッセージが表示されますので、「OK」をクリックします。

ログがすべて削除され、以降の制御やプロジェクターエラーの内容が新たに記録されていきます。

ログの表示と削除

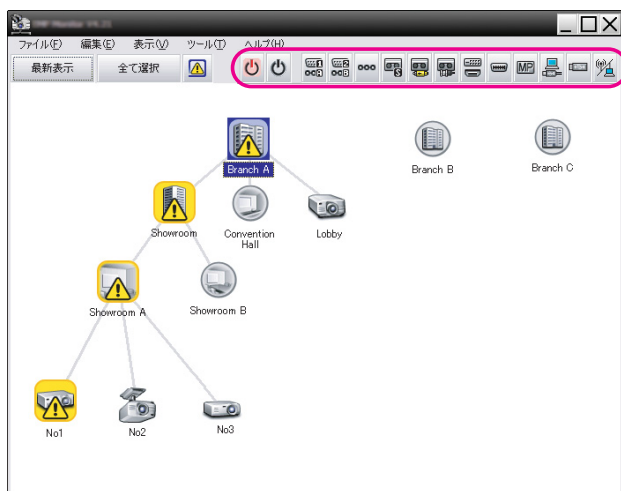
EMP Monitorで制御した内容やプロジェクターのエラーの内容などの通信ログをWebブラウザで確認できます。確認済みのログは削除できません。

制御ボタンで制御する

グループViewまたは詳細リストView上で制御するプロジェクターアイコンをクリックし制御ボタンをクリックすると、選択したプロジェクターを制御できます。

グループViewまたは詳細リストView上で複数のプロジェクターを選択してから制御ボタンをクリックすると、選択したプロジェクターすべてを一括して制御することもできます。複数のプロジェクターを選択する方法は次のとおりです。

- グループView上でグループアイコンを選択すると、そのグループに登録されているプロジェクターで監視対象となっているものすべてを一括制御できます。
- キーボードのCtrlを押したまま目的のアイコンを順次クリックします。
- 目的のアイコンが含まれるようにドラッグ&ドロップで範囲指定します。



制御ボタンの意味は、下表のとおりです。

	電源オン	プロジェクターの電源をオンにします。
--	-------------	--------------------

	電源オフ	プロジェクターの電源をオフにします。
	ソース切替コンピューター1	入力ソースをコンピューター1入力端子またはコンピューター入力端子からの映像に切り替えます。
	ソース切替コンピューター2	入力ソースをコンピューター2入力端子からの映像に切り替えます。
	ソース切替BNC	入力ソースをBNC入力端子からの映像に切り替えます。
	ソース切替S-Video	入力ソースをSビデオ入力端子からの映像に切り替えます。
	ソース切替Video (RCA)	入力ソースをビデオ入力端子、あるいはビデオ2入力端子からの映像に切り替えます。
	ソース切替Video (BNC)	入力ソースをビデオ1入力端子からの映像に切り替えます。
	ソース切替DVI、HDMI	入力ソースをDVI入力端子またはHDMI入力端子からの映像に切り替えます。
	ソース切替D-Video	入力ソースをD4入力端子からの映像に切り替えます。
	ソース切替EasyMP	EasyMP.net、あるいはEasyMPに切り替えます。
	ソース切替USB Display※	USB Displayに切り替えます。
	ソース切替USB※	USB (Type A) 入力端子に接続した機器からの映像に切り替えます。
	ソース切替LAN※	EMP NS Connectionで投写している映像に切り替えます。

※ ボタンを押しても何も機能しない場合は、制御ボタンEasyMPで切り替えます。



● 接続しているプロジェクターによっては、装備されていない端子や機能があります。装備されていない端子や機能のボタンをクリックしても何も機能しません。

● 次の表示を行っているときにも、制御対象を選択し制御ボタンで制御することができます。

グループプロパティ p.25

プロジェクタープロパティ p.26

警告、異常プロジェクター一覧
(警告状態のプロジェクターに限り制御できます) p.24

Webブラウザを使って制御する(Web制御)

コンピューターのWebブラウザを利用して、プロジェクターの環境設定メニューを変更することができます。

操作

① グループViewまたは詳細リストView上で制御するプロジェクターアイコンを右クリックして、「Web制御」を選択します。

② Webブラウザが起動し、Web制御の画面が表示されます。
Web制御ではプロジェクターの環境設定メニューと同じ内容の設定が行えます。 プロジェクターに添付の『取扱説明書』



次の表示を行っているときにも、プロジェクターを選択し右クリックして、Web制御を選択することができます。

グループプロパティ p.25

警告、異常プロジェクター一覧(警告状態のプロジェクターに限り制御できます) p.24

タイマー予約で制御する

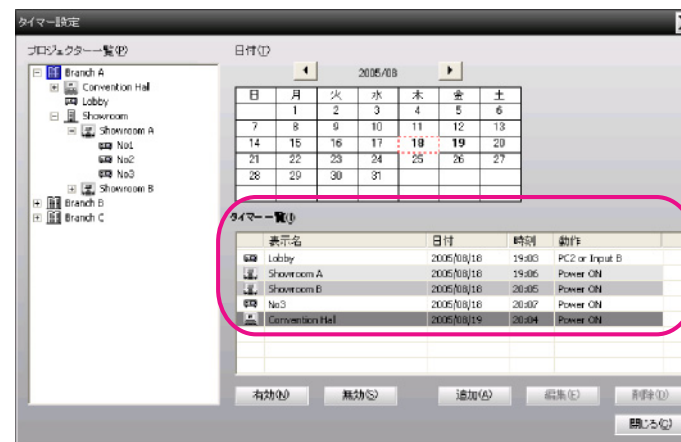
毎日、あるいは毎週決まった時間に電源のオン/オフを行うなど、定例の制御はタイマー機能を使うと便利です。

タイマー予約は1台のプロジェクターだけに設定することもできますし、グループに対して設定し、グループ内のプロジェクターを一括制御することもできます。

操作

ツールメニュー - 「タイマー」 - 「タイマー設定」を選択します。

次の画面が表示され、タイマー予約の状況を確認できます。



タイマー一覧の行の色には次の意味があります。

	今日のタイマー設定
	今日のタイマー設定で、グループ内にタイマー設定の実行有効、実行無効のプロジェクターが混在する場合
	今日のタイマー設定で、無効状態のタイマー設定

	今日以外の日のタイマー設定
--	---------------

ここで確認、操作できる内容は下表のとおりです。

プロジェクト一覧	状況を確認したいグループまたはプロジェクトを選択します。 グループを選択すると、グループ内の全プロジェクトのタイマー予約状況が表示されます。
日付	今日が赤枠で表示されています。 タイマー予約が設定されている日は、太字で表示されます。 ◀、▶ をクリックすると先月、翌月のカレンダーに切り替わります。
タイマー一覧	タイマー予約の内容が一覧表示されます。
有効/無効	予約一覧で選択したタイマー予約を有効/無効に切り替えられます。
追加	新規のタイマー予約を登録します。☛「新規タイマー予約の手順」 p.29
編集	予約一覧で選択しているタイマー予約を変更します。グループを選択して状況を確認している場合は、編集は行えません。
削除	予約一覧で選択しているタイマー予約を削除します。

新規タイマー予約の手順

操作

- 1 タイマー設定の画面で「追加」をクリックします。次の画面が表示され、新規のタイマー予約が行えます。



動作では、メイン画面の制御ボタンと同様に、電源のオン/オフと入力ソースの切り替え指定ができます。入力ソースの切り替えを設定すると動作開始時刻にプロジェクトの電源が入っていても、自動的に電源がオンになります。したがって、電源をオンにするタイマー予約と入力切り替えをするタイマー予約の2つを登録する必要はありません。

- 2 タイマー予約の設定が終了したら、「OK」をクリックします。
設定したタイマー予約が登録され、表示された予約一覧で確認できます。



登録しているタイマー予約すべてを有効にしたり、無効にすることができます。ツールメニューで**タイマー - 実行有効**、または**実行無効**を選択します。

メール通知機能の設定をしておく、ネットワークで接続しているプロジェクターが特定の状態や異常/警告状態になったとき、設定したメールアドレスに対してそれらの状態がメールで通知されます。これにより、プロジェクターの状態や異常を離れた場所においても知ることができます。



- 宛先(送信先)は最大3つまで記憶でき、一括して送ることができます。
- プロジェクターに致命的な異常が発生し、瞬時に起動停止状態になった場合などは、メールを送信できないことがあります。
- プロジェクターの環境設定メニューで待機モードあるいはネットワーク監視をオン、あるいはネットワーク有効に設定しておく、プロジェクターがスタンバイ状態(電源オフの状態)でも、監視ができます。● プロジェクターに添付の『取扱説明書』
- プロジェクターによっては環境設定メニューでメール通知機能の設定が行えるものがあります。プロジェクターの環境設定メニューでメール通知を行うように設定しているときは、環境設定メニューでの設定とEMP Monitorでの設定の両方が働きます。
- お使いのプロジェクターにより、メール通知機能で検出できる状態は異なります。

操作

1

ツールメニュー - 「メール通知機能」を選択します。

2

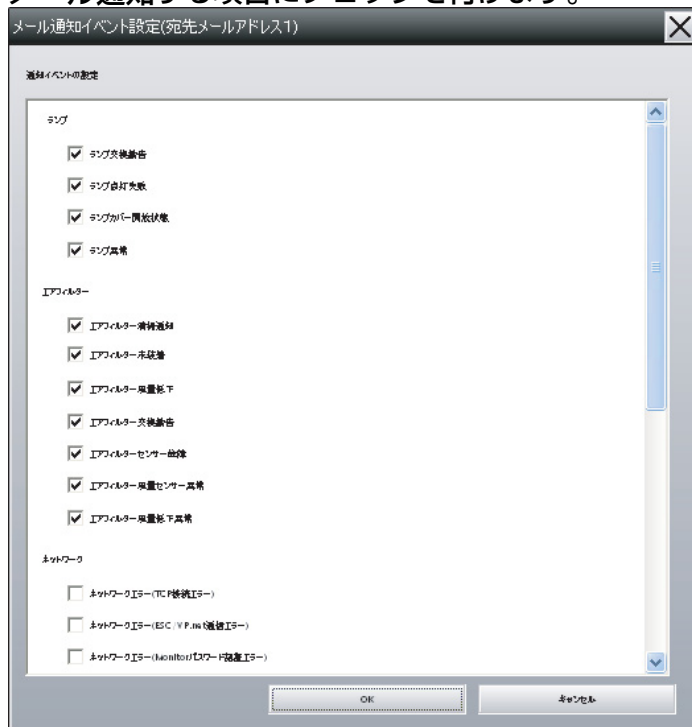
メール通知機能設定画面が表示されます。



下表をご覧になり、必要な設定を行います。

メール通知機能	メール通知を行うときにOnに設定します。
SMTPサーバーIPアドレス	プロジェクターが使うSMTPサーバーのIPアドレスを入力します。最大255バイトまで入力できます。 SMTPサーバーのポート番号を変更するときは、ポート番号を入力します。初期値は25です。1～65535までの有効な数値を入力できます。
送信元メールアドレス	送信元のメールアドレスを入力します。最大255バイトまで入力できます。
宛先メールアドレス 1	通知メールの送信先メールアドレスを3件まで指定できます。最大255バイトまで入力できません。
宛先メールアドレス 2	
宛先メールアドレス 3	

- ③ 「通知イベント」をクリックし、表示されたダイアログボックスで、メール通知する項目にチェックを付けます。



- ④ 「OK」をクリックします。
メール通知機能設定画面に戻ります。
それぞれの送信先について、手順3～4の操作で通知イベントを設定します。

- ⑤ 設定が終了したら「OK」をクリックします。

プロジェクターに異常や対処すべき状態が発生すると、宛先メールアドレスで設定したメールアドレスに次のようなメールが送信されます。

異常・警告・状態が複数あるときは、1行に1つずつメッセージが記載されています。

項目	表示内容
メールタイトル	【グループViewまたは詳細リストViewに表示されている表示名】 プロジェクター状態通知
本文	<グループViewまたは詳細リストViewに表示されている表示名>が以下の状態になりました。 <異常・警告・状態メッセージ(下表参照)>

メッセージの示す内容は下表のとおりです。

メッセージ	対処方法
内部異常	インジケータの見方をご覧ください。
ファン異常	👉 プロジェクターに添付の『取扱説明書』
センサー異常	
ランプカバー開放状態	
ランプ点灯失敗	
ランプ異常	
内部高温異常	
エアフィルター風量低下異常	
エアフィルター風量センサー異常	
高温警告	
ランプ交換勧告	
エアフィルター交換勧告	
エアフィルター未装着	

メッセージ	対処方法
エアフィルター風量低下	
エアフィルターセンサー故障	
エアフィルター清掃通知	
ノーシグナル	プロジェクターに映像信号が入力されていません。接続状態や、接続している機器の電源が入っているかを確認してください。
その他のエラー	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または取扱説明書に記載の連絡先に修理を依頼してください。👉 プロジェクターに添付の『取扱説明書』『お問い合わせ先』
電源系異常(バラスト)	
オートアイリス異常	
ネットワークエラー (TCP接続エラー)	プロジェクターの電源が入っているか、LANケーブルが接続されているか、または、ネットワーク監視がオンあるいは、待機モードがネットワーク有効になっているか確認してください。👉 プロジェクターに添付の『取扱説明書』
ネットワークエラー (ESC/VP.net 通信エラー)	プロジェクターがネットワークに正しく接続されているか確認してください。👉 プロジェクターに添付の『取扱説明書』
ネットワークエラー (Monitorパスワード認証エラー)	プロジェクターのMonitorパスワードを確認してください。

異常、警告が復帰した際は復帰を通知するメールが送付されます。

第三者が勝手にEMP Monitorを操作したり、設定を変更したりできないようにアプリケーションロックをかけることができます。アプリケーションロックをかけても、EMP Monitorの起動・終了と状態監視は行えます。

さらに、パスワードを設定しておくとうアプリケーションロック解除時にパスワードの入力が求められます。このため、簡単にアプリケーションロックを解除できなくなり、セキュリティがより強力になります。

アプリケーションロックの有効/無効を切り替える

アプリケーションロックを有効にする場合

操作

ツールメニュー - 「アプリケーションロック」を選択します。

アプリケーションロックが有効になりEMP Monitorの終了/起動と、アプリケーションロック解除以外は操作できなくなります。

アプリケーションロックを解除する場合

操作

① ツールメニュー - 「アプリケーションロック解除」を選択します。

② パスワード入力の画面が表示されますので、設定したパスワードを入力し「OK」をクリックします。

パスワードを設定していない(初期設定のままの)場合は、そのままOKをクリックします。セキュリティ強化のために、パスワードの設定をお勧めします。

アプリケーションロックが解除され、通常どおり操作ができるようになります。

アプリケーションロック解除時のパスワードを設定する

アプリケーションロックが解除されている状態で、以下の設定を行います。

操作

- ① ツールメニュー - 「環境設定」を選択します。
環境設定画面が表示されます。
- ② 「アプリケーションロックパスワードの変更を行う」にチェックマークをつけます。
- ③ 「新規パスワード」と「新規パスワード(確認)」の両方にパスワードを入力し「OK」をクリックします。

パスワードは、16バイト以内で設定します。半角英数字が入力できません。



付録

プロジェクターを監視・制御できない

確認	対処法
ネットワークに正しく接続されていますか？	ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認します。接続されていなかったり間違っ て接続されているときは、接続し直します。
ネットワークに接続するための設定は正しいですか？	プロジェクターの環境設定メニューでネットワークの設定を確認してください。 ☛ プロジェクターに添付の『取扱説明書』
コンピューターにEMP Monitorが正しくインストールされていますか？	アンインストールしてから、再度インストールしてください。☛ p.6
制御・監視したいすべてのプロジェクターが登録されていますか？	プロジェクターを登録してください。☛ p.9
プロジェクター側で、環境設定メニューのネットワーク監視、あるいは待機モードをオン、あるいはネットワーク有効に設定していますか？	プロジェクターがスタンバイ状態のときもEMP Monitorで監視や制御をするには、プロジェクター本体の環境設定メニューのネットワーク監視あるいは待機モードをオン、あるいはネットワーク有効に設定しておきます。 ☛ プロジェクターに添付の『取扱説明書』

確認	対処法
SMTPサーバーIPアドレス、ポート番号、宛先メールアドレスは正しく設定されていますか？	設定内容を確認してください。
プロジェクター側で、環境設定メニューのネットワーク監視、あるいは待機モードをオン、あるいはネットワーク有効に設定していますか？	プロジェクターがスタンバイ状態のときもメール通知機能を使うためには、プロジェクター本体の環境設定メニューのネットワーク監視あるいは待機モードをオン、あるいはネットワーク有効に設定しておきます。 ☛ プロジェクターに添付の『取扱説明書』
致命的な異常が発生しプロジェクターが瞬時に起動停止状態になっていませんか？	瞬時に起動停止するとメール送信できません。本機を確認しても復帰しない場合は、お買い上げの販売店または取扱説明書に記載の連絡先に修理を依頼してください。 ☛ プロジェクターに添付の『取扱説明書』「お問い合わせ先」
プロジェクターに電源が供給されていますか？	プロジェクターが設置されている地域が停電になっていたり、プロジェクターの電源を取っているコンセントのブレーカーが切れていないか確認してください。

プロジェクターに異常が起きてもメールが送付されない

確認	対処法
ネットワークに正しく接続されていますか？	ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認します。接続されていなかったり間違っ て接続されているときは、接続し直します。
ネットワークに接続するための設定は正しいですか？	プロジェクターの環境設定メニューでネットワークの設定を確認してください。 ☛ プロジェクターに添付の『取扱説明書』

ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(裏表紙参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (7) 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

本機を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源ケーブルは販売国の電源仕様に基づき同梱されています。本機を販売国以外でお使いになるときは、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国の規格に適合した電源ケーブルを現地にてお求めください。

瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお薦めします。

JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

商標について

Windows、Windows NT、Windows Vistaは米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Macintoshは、Apple Inc.の登録商標です。
Pentiumは、Intel Corporationの登録商標です。
EasyMPおよびEasyMP.netはセイコーエプソン株式会社の商標です。
なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

©SEIKO EPSON CORPORATION 2009. All rights reserved.

411581800JA